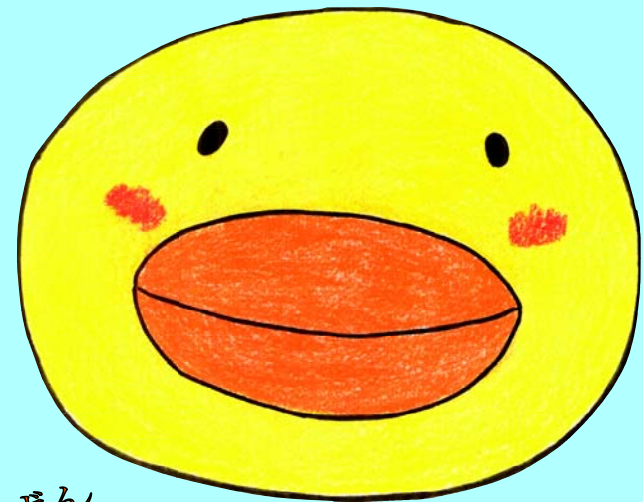




たくさんのひとが
えがおになれる**ヒント**が
ここにはつまっています



葛飾区政策経営部企画課

〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1

TEL 03-5654-8108 FAX 03-5698-1501

あんぜん
あんしん
くらしやすいまち!
ユニバーサル
デザイン?
おもしろ
バリアフリー?

私たちのまちって、

“くらしやすい?” “くらしにくい?”

まちには、いろいろな人がくらしています!

おとなも、子どもも、若い人も、高齢の人も

男の人も、女の人も

背の高い人も、低い人も、力の強い人も、弱い人も

右ききの人も、左ききの人も

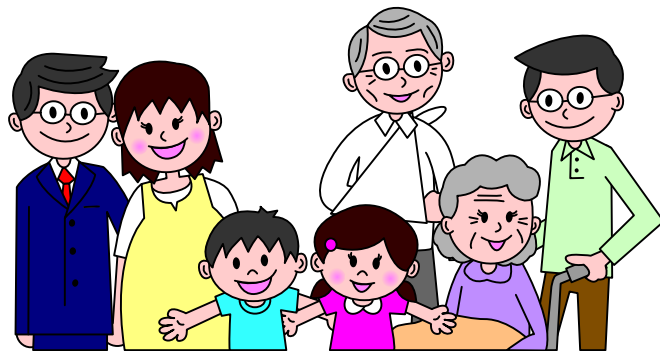
妊娠している人、ケガをしている人、

車いすを使っている人・・・などなど。



でも、私たちがくらしているまちは、

だれもがくらしやすくなっているかなあ?



人を思いやるころ、やさしいころで、
周りを見直してみましょう。

新しい「気づき」がたくさんあるでしょう。

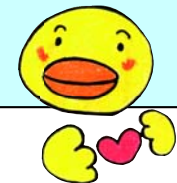


ユニバーサルデザインの考え方が広がり、
ひとりひとりが**気づき、行動**した分、
少しずつ暮らしやすくなっていきます。

「気づいたところから」「少しずつ」はじめましょう!

みんなが“えがお”になれるヒントは、

あなたの心の中にあります。



ユニバーサルデザインってなあに？

だれもが**暮らしやすく使いやすい**ように、設計（デザイン）するのがユニバーサルデザイン。



たとえば…



車いすを使用している人やベビーカー、重い荷物を持った人など、だれにでも便利に利用できます。

車いすを使用している人や赤ちゃん連れの人、高齢の人でも安心してゆったりと使えます。



なれない場所でも、どこに何があるか、遠くからでも分かりやすく、字が読めない子どもや日本語がわからない外国の人にも、どこに何があるか分かりやすいです。

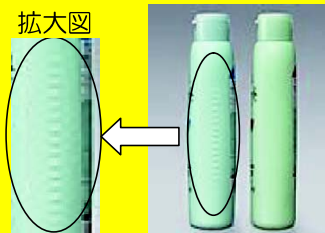


高齢の人や荷物を持っている人には少し歩いた後、ちょっと休めるベンチがあると嬉しいです。

受付や記載台などには車いすを使用している人や子どもも利用できる、低いカウンターが必要です。



拡大図



シャンプー容器のギザギザは、触るだけでリンスとの区別がつき、目の不自由な人や洗髪中に目を閉じていてもわかるので便利です。

まちの中、私たちの暮らしの中には、

まだまだいろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

探してみてくださいね！



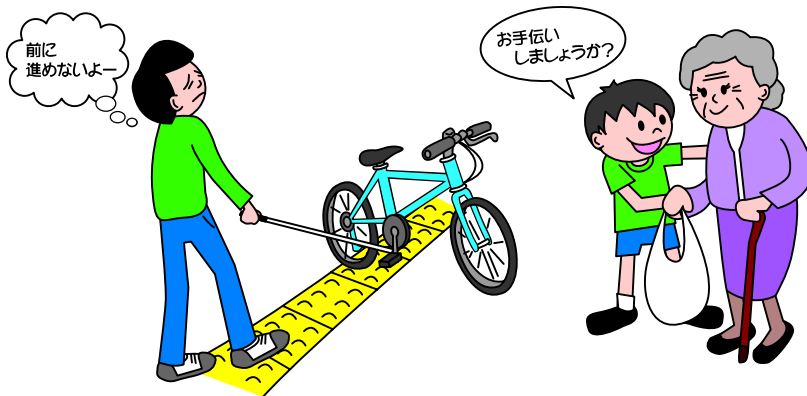
でも……

ものづくり、まちづくりのほかに、もっと大事なものが
あります。それは……



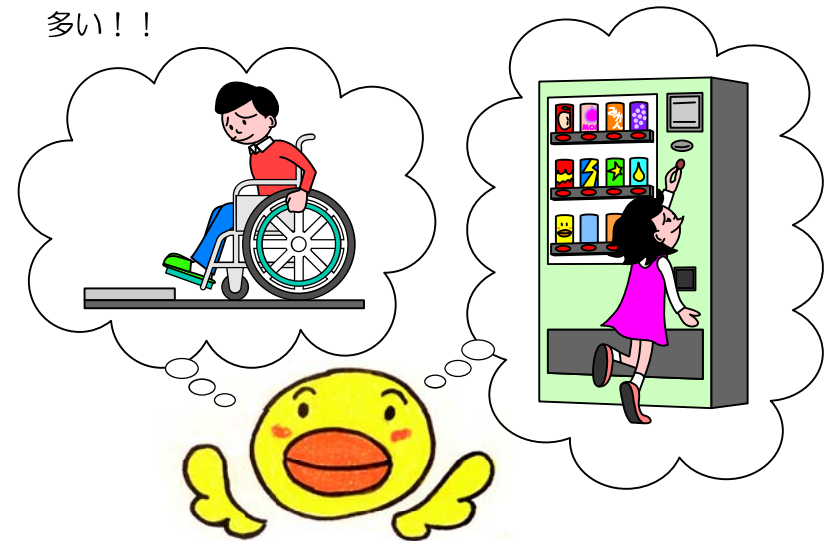
使う人の気持ちをわかること、わかろうとすることが
たいせつです。

使いにくいものだって、みんなが少しだけ手助けすれば
解決できることもあります。



これまでは、いろいろなものやサービスなどは、「ミスター・アベレージ」とよばれる、健康で体力のある若い成人男性を対象としてつくられてきました。

だから、まちを歩いていると不便に感じることもって意外に多い!!



そこで大事なのが、**ユニバーサルデザイン!**

でも、ユニバーサルデザインってなんだろう?

